

令和八年度 個別学力検査

国語

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この冊子は、二十三ページあります。
- 3 試験開始後、すべての解答用紙に氏名(カタカナ)及び受験番号を記入しなさい。受験番号が正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。また、氏名(カタカナ)及び受験番号以外の文字、数字などは、絶対に記入してはいけません。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。解答用紙は一枚です。
- 5 この冊子は、試験終了後持ち帰りなさい。

令和8年度個別学力検査
人文社会学部 前期日程
国語 問題
名古屋市立大学 学生課 (入試)
052-853-8020

許可なしに転載、複製
することを禁じます。



次の文章を読み、後の問いに答えなさい

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

〔香西豊子「屍体をめぐる」倫理〕

医業に対する社会的要請と自戒の歴史から

「にもとづく」

注

(一) 前野良沢(一七三三—一八〇三)は日本の医者、蘭学者。

(二) 杉田玄白(一七三三—一八一七)は日本の医者、蘭学者。

問一 傍線部①⑤の片仮名を漢字にあらためなさい。

問二 傍線部Aとはどのような意味か、説明しなさい。

問三 傍線部Bにある「物」と「理」とはどのようなことを指すのか、それぞれ説明しなさい。

問四 傍線部Cにある問いに対して、筆者は次の行で「儒学の精神」を挙げているが、ここでいう「儒学の精神」とはどのような意味か、説明しなさい。

問五 文中の X には、次のア、イが入る。適切な文章になるようにこれらを並び替えて、記号を答えなさい。

ア だが、いずれにせよ、それが儒教の教義に沿った行為であったことは間違いあるまい。

イ というのも、同時代の医家のなかには同じく儒教の教義を援用し、そもそもの東洋の観臓を断罪する者もいたからである。

ウ ただし、ここで『蔵志』の記述のみに依拠し、屍体に対する「思想・敬虔感情」なるものの歴史的淵源を一足飛びに儒教の教義に見いだすのは早計である。

エ 東洋の屍体供養が、もともと刑死体下付の条件として公儀により義務付けられていたか、あるいは東洋の自発的な振舞であったかは、検証に供すべき資料を欠く。

問六 山脇東洋が観臓と屍体供養をおこなった当時、儒教の観点からさまざまな評価があった。それらの評価とは具体的にどのようなものだったのか、説明しなさい。

二

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載していません。

●

○

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

著作権の関係上、掲載していません。

(岡本夏木『子どもことば』にもとづく)

注

喃語とは、乳児の、いまだことばにならない段階の発声のこと。

問

空欄 X・Y・Z のそれぞれにふさわしい文を次の A・U より選びなさい。

A ここにことばの原型をみたいのは、この子が自分の内部の情動的類同性をもとに対象を選択し、外界のなかから特定の対象群を切り取り、そこに自分の特定音声の活動を参加させている点である。

I N児は外的に訓練された音声よりも、むしろ自己がすでに持っている音声を、その対象にさし向けたのである。

そこには、上位—下位概念的(一般—特殊)階層力テグリー化の成立を背景とした命名機能が明確にうかがわれる。

問

傍線部 A の時期は、本文に述べられる N児の「ニヤンニヤン」の使用事例における七つの段階のうち、どの段階にあたるのか。また、その時期の「ニヤンニヤン」の使われかたを踏まえて、理由を説明しなさい。

問三 傍線部B「訓練語(慣習語)」とは、ここではどのようなことを指すのか説明しなさい。

問四 傍線部C「対象表示語と状態表示語」とは、それぞれどのようなものを指すのか。十二ページの図に挙げられているN児の発話例から二つずつ抜き出しなさい。

問五 傍線部D「二つの側面」とあるが、次に示すN児の発話例を用いて、それぞれの側面を説明しなさい。解答の際には、用いた発話例の番号のみ示せばよい。

① 「コレ・ナニウマ」

② 「オーキイワンワン・ワンワンユワヘンワ」

③ 「コレ・プチノヤネ・プチニアゲルワ」

問六 本文全体を踏まえ、筆者が「般化的使用」の意義として強調する点を説明しなさい。

三

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載していません。

〔建礼門院右京大夫集〕にもとづく

- (一) 「維盛の三位中将」は建礼門院右京大夫の恋人である平資盛の兄。維盛は源平の合戦の折に命を落とすが、その最期については諸説ある。本作では熊野で身を投げたと伝わっている。
- (二) 「法住寺殿」は後白河法皇の御所のこと。「法住寺殿の御賀」は、法住寺殿で行われた後白河法皇の五十の賀を指す。

問一 文中の波線部①③を現代語訳しなさい。

- ① げにすぐれたりしなど思ひ出でらるる
- ② めでぬ人やはありし
- ③ 花のほひもげにけおされぬべく

問二 傍線部A「されば」の指す内容を説明しなさい。

問三 傍線部B「同じことと思へ」について次の質問に答えなさい。

〔一〕 これは誰の発言であるか。次のア～エの中から一つを選び、記号で答えなさい。

ア 維盛

イ 人々

ウ 作者

エ 資盛

〔二〕 何と何をどのような理由で「同じ」と思えと言っているのか説明しなさい。

問四 二首目の和歌「かなしくも」について次の質問に答えなさい。

〔一〕 「うきめ」は掛詞である。一つは「浮き海布」つまり水の上に浮いている海藻を意味しているが、もう一つの意味は何か。「うきめ」を漢字で表記し、その意味を説明しなさい。

〔二〕 この歌には「うきめ」以外にもう一つ掛詞がある。もう一つの掛詞について指摘し、どのような意味で用いられているか説明しなさい。